

2013<sup>5</sup>月号



# 原水協通信

原水爆禁止日本協議会

発行人 赤松宏一

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話 (03)5842-6031

FAX (03)5842-6033



原水爆禁止大阪府協議会 大阪府中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

## 私のポスターで署名たくさん!



☆上級代表アンゲラ・ケインさんに日本代表団署名提出

四月二十四日午後、アンゲラ・ケイン上級代表は、会議議長のコルネル・フェルタ大使とともに笑顔で代表団を迎えてくださいました。大阪からの署名二十万含む276万筆を高草木・日本原水協代表理事から手渡されました。ケイン上級代表は、「藩基文・事務総長に言われて、去年、広島長崎に行き、世界大会に出席して大きな感銘を受けました。暑い日ざしの中で、署名を集める若者の姿に感動しました。これからもみなさんと行動をつくっていきたい」と、代表団を励ましました。代表団から、今年の世界大会にも参加をしてくださるよう要請しました。会談終了前、小松・大阪原水協事務局長からケインさんの姿が入

■大阪で五千人立っています  
四月二十四日午後、アンゲラ・ケイン上級代表は、会議議長のコルネル・フェルタ大使とともに笑顔で代表団を迎えてくださいました。大阪からの署名二十万含む276万筆を高草木・日本原水協代表理事から手渡されました。ケイン上級代表は、「藩基文・事務総長に言われて、去年、広島長崎に行き、世界大会に出席して大きな感銘を受けました。暑い日ざしの中で、署名を集める若者の姿に感動しました。これからもみなさんと行動をつくっていきたい」と、代表団を励ましました。代表団から、今年の世界大会にも参加をしてくださるよう要請しました。会談終了前、小松・大阪原水協事務局長からケインさんの姿が入



ったポスターが許可なしでも印刷されてしまったことへの謝罪があると、ケインさんは、笑顔で「私がノーと言ったら困りますね」と言われたあと「私が大阪で五千人立っているんですか。署名をたくさん集めてください」と答えられました。大阪原水協作成の「大阪から国連へ」ポスターを大きく励ましてくださいました。

### NPT・ジュネーブ緊急報告

## 大阪から19万署名提出

四月二十二日から2015年NPT第二回準備委員会がジュネーブ国連欧州本部で開幕。大阪原水協から二名含む日本原水協代表団十八名は、国連軍縮担当上級代表アンゲラ・ケインさんに265万の署名を提出しました。ケインさんから、大阪のみなさんにメッセージが寄せられました。大阪代表団の水口さん、小松さんからの連日の代表団の奮闘ぶりをレポートします。

### 第51回

## 大阪原水協定期総会

6月8日(土)

午後1時~5時

開場：大阪民医連

(地下鉄中央線「堺筋本町」下車  
9番か4番出口)南へ徒歩3分

講演：伊藤英朗さん

(映画「放射線を浴びたX年後」監督、南海放送ディレクター)



日本代表部に抗議活動  
被爆国として賛同すべきです！

☆世界のNGO100名と国連欧州本部からデモ行進し、日本政府代表部に抗議活動

四月二十四日、日本代表部は、南アフリカ政府など七十四カ国が連名で発表した核兵器廃絶を訴える「核兵器の人道的影響に関する共同声明」に対し、日本政府は署名を拒否しました。前日には、日本原水協代表団が天野軍縮大使に要請したにもかかわらず、拒否したことに対し、ICAN(核兵器廃絶キャンペーン)など世界のNGOの仲間と抗議行動を行いました。

通りを挟んで日本代表部とオーストラリア代表部にリズムをとっての抗議の唱和。行きかうトロリーバスや車から連帯のゼスチャーも。代表団を代表して被爆者の佐久間邦彦さんが「被爆国として賛同すべきです」の抗議を日本代表部に伝えました。現地マスコミや中国新聞や共同通信がその様子を日本に大きく報道しました。

## 国連・ニューヨーク大学で原爆展と署名活動元気に



☆原爆展を国連とジュネーブ大学で開催。国連では、各国軍縮大使や平和市長会議やICANなどの仲間が原爆展を見た後署名を。署名終わったあと、折鶴を渡すと、みんなニコリでした。ジュネーブ大学では、声をかけると、ほとんどの学生が署名用紙をかならず最後まで読んでサイン。4月28日、ジュネーブ大学での被爆証言を聞く会では、小松さんが代表団を代表して、被爆者の紹介と代表団の目的などを英語でスピーチしました。

ハッピー姿で訴えた国際行動デー

☆国際行動デーが4月23日から国連欧州本部前で行われました。欧州本部の前の広名には、国際地雷禁止条約を記念するモニュメント「ブローケン・チェアー」前で行われました。「今度は核兵器」の大横断幕。世界のNGOの仲間たちと朝から朝から元気に、チャント(歌を歌うようにリズムをとってのコール)で国を越えての唱和が続きました。ここでは、大阪代表団の水口さん、小松さんは「天神祭のハッピー」を来て、世界にアピール。愛知から参加した3人の大学生とともに、署名をたくさん集めました。

